



明りの暗い話

秋田県立雄物川高等学校

現代はとても豊かな時代になりました。人は昼夜を問わず街を行き来し、夜になると一層にぎやかになる時代です。

“灯り”人間にとってこんなに便利なものはありません。暗い闇を照らし出し、人間の生活をより豊かなものにしました。しかし人間ばかりいい思いをしていいのでしょうか。今日は街中が明るいことで困っている方々からのお手紙を紹介したいと思います。

暑さは白昼でも夜が明るくて荷
 んでいても見つけれないんです
 ぁ。 暑は暗い人気があったんであ
 けはねえ.....暑に疲れたんであ
 わ.....本当.....
 「ほむるの光」って知ってて取っ
 てんのがね.....
 雲

さあ、いよいよ夏っていうのにど
 こもかしこもこうも明るくってば出
 にくいつたらありゃしません。
 昔は部屋の中も家の外も遠方に暗
 くって、それはみなさんに怖がって
 もらえたんですがねえ。今の電光
 灯ってやつは部屋の隅々まで明るく
 してしまおうのて客用光が出やしま
 せん。
 そういえばテレビでやってる時
 代劇ってありゃねえですよね。夜があ
 んなに明るい訳がないのですから。
 ああうらのしや.....
 幽霊



明るさを得たことで失ったもの

睡眠時間

自然の中に生きているという感覚

暗闇の怖さ

突然の夜の停電の経験ありますか？

あれってけっこうワクワクしませんでしたか。
いつもの風景が全然違ったものになってしまいます。
とっても静かな時間が何ともいえません。

非日常的体験ってやつですな。

暗闇を取り戻して人間本来の感覚をゲット！

毎月15日を「OFFの日」としましょう。

地球本来の暗さを取り戻すとするとこんないいことが

何といっても省エネ！ 少しでも地球を冷やしましょう

みなさん早く帰るので一家団楽

心と体の休息

自然実感（星のきらめき、虫の声）

静かさ実感（蛍光灯の音、テレビの音がない）

闇の怖さ実感（肝試しには最高！わがまま子どももジッ）

目が悪いので人工照明にも一役……

いきなり真っ暗は大変でしょうから、最初の年は1時間くらいからスタートして
徐々に時間を延ばしていくのがどうでしょうか。

これならみなさん馴染んでいくことができると思います。

最終的に毎日真っ暗にするのかどうかはみなさんで考えていきましょう。

ろうそくと懐中電灯くらい
はOKです。



日没とともに寝て、朝日とともに起きる、
なんて素敵な生活でしょう。



暗くなることでこんな心配が・・・。

経済活動一時ダウン。
犯罪が起こりやすくなるのでは。
交通事故も心配。
非常時はどうするの？

心配ご無用！

経済活動ダウン

→ 地球も頭も冷やせば高亮への良い知恵も生まれるってもんです。
また、暗くなることで新しい高亮も出てくることでしょ。

犯罪が起こりやすくなるのでは。

→ 暗視装置を装着した警察官が待機してますので安心です。
外に出るときには仲間といっしょに出ましょ。

交通事故も心配。

→ 車も走らないので交通事故はありません。

非常時はどうするの？

→ 救急車、消防車、手術等人命に関わることだけは例外です。



暗さを積極的に楽しみましょ

ゆっくり寝てみましょ。
虫の声を聞きにでかけましょ。
真っ暗な街を楽しみましょ。
電灯のない昔を感じてみよ。

怪談話で一企画

家族でこわーい話 町内でこわーい話
こわい話語り部全国大会開催します。

まっ暗残像を楽しもう。

まっ暗なのに見えてくる模様を楽しむ。
それをスケッチして美術展を開催します。





電気を消してみませんか？

今まで見えなかったものが見えてきますよ。

月に一度くらいいいじゃないですか。

現実的でないって？

慣れればどうってことないですよ。